

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	県民が安全・安心に暮らせる道路環境の整備												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岐阜県												
計画の目標	県民が安全・安心に暮らすためには、道路ストックの適切な維持管理を行う必要があるとともに、交通事故、凍・雪害に対するきめ細やかな対策が不可欠であるため、計画4.3と一体となった、交通安全対策及び冬期交通の安全対策を計画的に進める。また、当県が保有する除雪機械は、民間保有を含めた全数に占める割合の約10%程度と全国的にも低水準にあるため、計画的に除雪機械の増強を図ることで、現状の除雪作業水準を保持しつつ、除雪委託業者の機械保有の負担軽減を実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,150	A	9,150	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H35末
1	県管理道路における人身事故件数を、約1割削減する。 岐阜県警察統計データより、県管理道路の人身事故件数を約1割削減する。 〔(H30年件数 - H35年件数) / H30年件数〕 0.1	1950件	件	1750件
2	岐阜県除雪機械増強計画に基づき、増強計画台数を約3割上昇させる。 岐阜県除雪機械増強計画に基づき、県保有除雪機械台数を増強計画台数に対し約3割上昇させる。 〔(H35年県保有台数 / 増強計画台数) - (H30年県保有台数 / 増強計画台数)] × 100 30	63%	%	94%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	雪寒	岐阜県	直接	岐阜県	国道	除雪	(国)156号外	除排雪 690.2km	高山市外						2,500	-	
	A01-002	道路	雪寒	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	除雪	(主)古川清見線外	除排雪 1308km	飛騨市外						5,000	-	
	A01-003	道路	雪寒	岐阜県	直接	岐阜県	国道	除雪(機械)	除雪機械調達及び除雪指示機器増設	除雪機械の更新・増強及び除雪指示機器増設	県内一円						500	-	
	A01-004	道路	雪寒	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	除雪(機械)	除雪機械調達及び除雪指示機器増設	除雪機械の更新・増強及び除雪指示機器増設	県内一円						500	-	
	A01-005	道路	雪寒	岐阜県	直接	岐阜県	-	-	岐阜県道路雪システム高度化	雪情報システム高度化	県内一円						150	-	
	A01-006	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	交安	(主)山東本巣線 外	道の駅	県内一円						500	-	
											小計						9,150		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜県事業評価監視委員会にて意見を聴取し、評価を実施	令和8年2月4日
	公表の方法
	岐阜県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	降雪状況に応じて適時適確に除雪作業を実施し、冬期交通の確保することで人身事故件数を約4割削減することができた 岐阜県除雪機会増強計画に基づき、除雪機械を配備することにより、除雪体制を着実に強化することができた
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
県民が安全で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、引き続き交付金を活用しながら交通安全対策および冬期交通の安全対策を進めていく	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	県管理道路の人身事故件数を約 1 割削減	
	最終 目標値	1750件
	最終 実績値	1162件
2	県保有除雪機械台数を増強計画台数に対し約 3 割上昇	
	最終 目標値	94%
	最終 実績値	96%